

協議会の目標：迅速かつ確実な避難を可能にする地域防災力の向上（～概ねR3）

■ 第1回減災対策協議会で決定した主な取組とその状況について

項 目	実施年度	備 考
・ 県と市町村のホットラインの構築	H29～	構築済み
・ 避難勧告等の発令に着目したタイムラインの策定	H29～	策定済み
・ 避難情報伝達手段の検討、整備	H29～	各市町村で実施
・ 要配慮者利用施設における避難確保計画作成に向けた支援	H29～	継続実施
・ 防災教育（出前講座、自主防災組織に対する研修、避難訓練）	H29～	避難訓練等を継続
・ 実況雨量に基づく簡易水位予測ツールの活用	H29～	主に各地域振興局で活用
・ 水位計、雨量計の配置見直しや増設	H30～	177基増設（危機管理型） R1運用開始
・ 水害リスクの高い箇所の合同巡視	H30～	継続実施
・ 水位周知河川以外の河川の浸水実績の把握及び周知	H30～	県より市町村へ提供
・ 最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域の公表	H30～	H31.3.22 三種川が最初
・ 新たな浸水想定に基づくハザードマップの作成	H31～	随時
・ 水位周知河川の追加	R2～	R2は熊沢川（鹿角管内）

■ その他の取組、協議事項

項 目	実施時期	備考
平成29年7月、8月豪雨被害状況の確認	H30	
市町村防災担当者アンケート結果共有（H29.7月豪雨直後）	H29、H30	H29アンケート H30結果検討
「非水位周知河川」における減災対策への取り組み	H30～	
緊急行動計画の改定への対応（水防災意識社会の再構築）	R1～	土砂災害対策を追加
避難確保計画の作成支援の状況	R1～	国の支援を活用
洪水浸水想定区域図、土砂災害警戒区域の指定状況	R1～	ホームページで公表
危機管理型水位計の運用開始、簡易河川監視カメラの設置	R1～	カメラ47基を新設 R2運用開始
SNSによる秋田版災害情報発信事業について（県総合防災課）	R1～	R1試行運用 R2本格運用

